

JEITA/ECALGA 標準 2017 年度版の主な変更点

2017 年度版では、更なる国際化に伴う海外取引業務の拡大や、国内の支給取引業務の記述追加、バーコード情報の活用拡大のためのシンボル標準見直し等を行った。

JEITA/ECALGA 標準 2017 年度版の主な変更点は以下のとおりである。

- 1) 海外ビジネスにおける海外見積業務（海外見積依頼情報、海外見積回答情報）の追加。
- 2) 国内ビジネスにおける支給取引の「支給品日々照合月次照合併用」の業務記述が不足していたことによる当該記述の追加。
- 3) バーコード情報の活用拡大のための JEITA シンボル標準の見直し（バーコード規格「コード 1 2 8」の追加）。
- 4) 2 次元シンボル表示規格での受注者コードのデータ識別子の使用方法の見直し。
- 5) 前回（2012 年度版）の標準書発行以降に国内法改正等により発生したコード追加やコード記述の変更。

2017 年度版 の構成	分冊 番号	編数	編名	各編の掲載内容と特徴
	1	I	解説編	標準の位置付け、概要、変更点
		II	技術編	システム、ネットワーク
		III	資料編	E D I 取引基本契約、C I I タイプから XML タイプへの移行ガイド、T P A 一覧等
	2	IV	業務モデル編 (E C M)	技術情報交換ビジネスモデル集
		V	ビジネス辞書編 (E C M)	ビジネスドキュメント (C I I タイプ、XML タイプ)、クラス定義、項目定義、コード定義
	3	VI	国内業務モデル 編 (S C M)	国内における商取引情報交換ビジネスモデル集
	4	VII	国内ビジネス辞 書編 (S C M)	国内における商取引交換ビジネスドキュメント集 業務フロー、ビジネスドキュメント (C I I タイ プ、帳票・ラベル、XML タイプ)、クラス定義、 項目定義、コード定義
	5	VIII	海外業務モデル 編 (S C M)	海外における商取引情報交換ビジネスモデル集
IX		海外ビジネス辞 書編 (S C M)	海外における商取引交換ビジネスドキュメント集 ビジネスドキュメント (C I I タイプ、帳票・ラ ベル、XML タイプ)、クラス定義、項目定義、コ ード定義	